

## 「ベンチャー開発戦略研究センター」キックオフ・シンポジウム開催

1月27日(月)、産総研・ベンチャー開発戦略研究センターでは、東京會館(丸の内)において、「技術シーズを起業につなぐ研究システム改革に向けて」をテーマに、「ベンチャー開発戦略研究センター」キックオフ・シンポジウムを開催しました。



シンポジウムは、吉川弘之 ベンチャー開発戦略研究センター長(産総研理事長)の挨拶で始まり、榊原清則 慶應義塾大学総合政策学部教授による「ベンチャー開発戦略研究センターへの期待と注文」、Dr. Hannu Hanhijarvi (Director of Life Sciences, Finnish National Fund for Research and Development [SITRA], Finland)による「フィンランドにおける起業支援のための公的ファイナンス」、井出祐二 PIXERA Corporation 社長兼CEO(最高経営責任者)による「21世紀の新しいベンチャービジネスモデル - シリコンバレーからの提言 -」、大滝義博(株)バイオフロンティアパートナーズ 代表取締役社長による「日本のスタートアップスに求められるもの」の講演がありました。最後に吉海正憲 ベンチャー開発戦略研究センター次長からは本研究センターの構想についての説明があり、シンポジウムを閉会いたしました。

今回のシンポジウムは、日本型ベンチャー創出システムの構築のために必要な方策について、外部の200名を超える参加者の方々と共に検討し、連携に向かって交流を深められたものと確信しております。

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/topics/to2003/to20030203/to20030203.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/topics/to2003/to20030203/to20030203.html)

## 資源開発と地域社会に関する国際円卓会議開催

1月14日(火)~15日(水)、産総研・地圏資源環境研究部門では、つくば国際会議場において、円卓会議「Round Table Meeting on Good Practice and Effective Methods on Risk Communication Between Mineral Property Developers and Local Communities」を開催しました。この会議は資源開発と環境保護、地域社会の発展を実現するために必要なリスク・コミュニケーションについて検討するために開催したものです。

会議では技術、法律、経済、コミュニケーション等の複数の視点から各国の開発事例を検討し、さらに心理学者と人類学者から成るパネルによるフィードバックが行われました。

参加者が30人弱と小規模な会議でしたが、心理学者のコーディネートするロールプレイも行われ、充実した内容となりました。なお、本会議の報告書は英文で3月末に印刷される予定です。

## 第1回環境調和技術研究部門研究発表会開催

産総研・環境調和技術研究部門では、1月20日(月)に東京虎ノ門の石垣記念ホールにおいて、「グリーンケミカルプロセスの構築を目指して」と題した研究発表会を開催しました。



当日は、部門の紹介の他、部門の重要な柱の一つである、グリーンケミカルプロセス構築に関する課題を中心に研究発表を行いました。また、京都大学植田和弘教授による「循環型社会への転換を考える - 環境経済性の観点から -」、今井保環境調和技術研究部門研究顧問による「米企業研究開発の一例 - UOPでの研究紹介 -」がありました。一方会場ロビーでは、各研究グループの主要課題をポスター発表し、民間企業の方々等と活発なディスカッション・情報交換を行うことができました。

今回の研究発表会は200名を超える方々に参加いただきました。これはグリーンケミカルプロセスや資源循環プロセスへの関心、期待の大きいことの現れであり、今後、さらに充実した部門研究発表会を企画していきます。

## 基礎素材研究部門研究講演会

産総研・基礎素材研究部門では、21世紀が目指す持続可能な社会の実現に向け、長寿命で再資源化が容易な材料の研究・技術開発に、学界や産業界等の連携の下、東北、中部、九州、中国の各地域センターを拠点



として取り組んでいます。今年度はその拠点を中心に4回の研究講演会を開催しました。

第3回講演会は、1月15日(水)に(財)福岡県中小企業振興センターで開催し、「サステナブルマテリアルの創製を目指して - ナノ構造制御による材料の高機能化 -」をテーマに、各拠点で行われている5件の講演と特別講演「圧電セラミックスのドメイン構造と物性」(東京工業大学鶴見敬章教授)がありました。

1月31日(金)には、第4回研究講演会を広島ガーデンパレスにおいて開催し、「明日を支える材料技術」をテーマに、エネルギー・環境問題の解決、エネルギー効率の高度化に関する4件の講演と特別講演「水素エネルギーと燃料電池」(広島大学大学院竹平勝臣教授)がありました。

<http://unit.aist.go.jp/kyushu/kouenkai2003-1houkoku.html>